



## 小川未明文学賞

☎ 文化振興課 (☎025-520-5628)

### ●第34回受賞作が決定

郷土が生んだ“日本近代童話の父”小川未明の文学精神の継承と、新しい時代にふさわしい創作児童文学作品の輩出を目的に開催している「小川未明文学賞」の受賞作が決定しました。



受賞作詳細

**大賞** 『うどんの神さま』  
(長編)



いづき 樹 あゆり さん  
(香川県)

**優秀賞** 『おとぎ電車と宵待の橋』  
(長編)



すみがき けん さん  
(京都府)

### ●第33回大賞受賞作が書籍化

小川未明文学賞委員会から市内の各学校や図書館などに寄贈されました。



※刊行本は、小川未明文学館で購入することができます。



『あの日、ともに見上げた空』  
(黒田 季菜子 著)

## 春の火災予防運動

**期 間** 4月1日(水)～7日(火)

**防火標語** 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

令和7年は、市内で51件の火災が発生しました(うち、11件が住宅火災)。住宅火災の多くは、ちょっとした不注意や気のゆるみから発生します。家庭や地域を火災から守るため、4つの習慣・6つの対策を実行しましょう。

### 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

#### ●4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすい物を置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

#### ●6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

☎ 危機管理課 (☎025-520-5667)、上越地域消防局予防課 (☎025-545-0230)

### 消防団員を募集しています

上越市消防団では、消防団員を随時募集しています。私たちと一緒に、地域の安心・安全を守りましょう。

☎ 危機管理課 (☎025-520-5667)

### 上越地域消防局からのお願い

☎ 上越地域消防局予防課 (☎025-545-0230)

詳しくは



### 屋外での火の取り扱いに注意

全国的に林野火災が増加していることを受け、3月1日(日)から「林野火災注意報・警報」の運用が始まっています。管内では、毎年4～5月にかけて、たき火や火入れによる火災が多発しています。特に、乾燥した日や強風の日は屋外での火の取り扱いを行わないようお願いいたします。



### 住宅用火災警報器は10年経ったら取り替えを

住宅用火災警報器の寿命は、設置から約10年です。いざというときに確実に作動させるためにも、定期的な点検と早めの交換をお願いします。交換する際は、より安全性の高い「連動型」がお勧めです。



### 感震ブレーカーの設置をお勧めします

阪神淡路大震災や東日本大震災などで発生した火災の約6割が電気に起因しています。

感震ブレーカーは、地震の強い揺れを感知して、電気を自動的に遮断する機器です。詳しくは作成した動画をご覧ください。

PR動画



お知らせ

もよおし・講座

募 集

無料相談